長崎県議会議員3期目・会派：改革21

山田ともこだより

No.28

発行：山田ともこ事務所（2017年3月）

性暴力被害者支援で前進!!
2017年も地域の「声」から政策提案に取組む

●性暴力被害者支援「サポートながさき」開設 多くの被害相談が寄せられる

性暴力被害者は、心身に大きなダメージを受けているにも関わらず、その多くは被害に遭ったことを誰にも相談できずにいます。また、何とか相談しようとしても、必要な支援を受けるまでに、いくつもの機関に足を運び、そのたびに自分の身に起こったことを繰り返し説明し、その過程で傷つき、結局、何の支援も受けられないことも少なくありませんでした。そこで、私は平成２６年２月の一般質問で、性被害のワンストップ支援センターの設置を提案し、さらにその翌年１２月の一般質問でも設置の必要性を強く訴えてきました。

長崎県は、Ｈ２８年度予算に性暴力被害者支援「サポートながさき」の開設を盛り込み、４月１日より電話・面接相談、医療、法律相談、カウンセリング、付添い等の必要な支援が始まっています。昨年４月の開設から１２月までの相談件数は２２５件であり、昨年度の１４件と比較して相談数は増加。相談者の内容別では、強姦３７件、強制わいせつ６２件、痴漢や虐待、ＤＶなどが１０７件となっています。また、被害者年齢別では２０歳未満が８３件にも及びました。

さらに、昨年１２月の県議会環境生活委員会において、性暴力被害者支援のあり方に関し、県内どこの地域に居住しても支援に差があってはならない、振興局や保健所職員等での支援体制の構築、県内の産婦人科にご協力いただき、支援のネットワークを構築すべきと指摘。その結果、県は離島地域において保健所職員で対応するという新たな方針を打ち出しました。

引き続き、県民の声なき声に寄り添い、県議会における政策提案と実現を意識して取り組んで参ります。

≪性暴力被害者支援「サポートながさき」の支援内容≫

■対象者：性暴力被害に遭われた方、保護者、支援者等
■**相談受付時間：9時30分～17時**（土日祝祭日を除く）
■性暴力被害相談専用ホットライン
⇒095-895-8856
■相談員：専門の女性相談員1名、
他に女性相談員2名でサポート
■まず、ホットラインに電話での相談を頂き、必要に応じて面談等を行い、その方に応じた支援を行う。

●「すべての人を大切にする政治」 地域を駆ける、対話活動こそ議員の原動力

2017年1月4日
佐世保市新年交歓会

2017年1月5日
佐々町 成人式

2017年1月6日
各地の消防出初式にて挨拶

2017年1月9日
西小佐世保町 どんと焼き

2017年2月3日
各地の節分行事にて豆まき

2017年2月6日
県立大学の学生と意見交換

●人口減少・経済雇用対策特別委員長に 就任しました!!

本年２月、新たに創設された県議会人口減少・経済雇用対策特別委員長を拝命しました。子育てや教育環境の充実、若者の定住化促進などの人口対策、さらに雇用の創出という非常に重要なテーマに委員長として取り組むこととなります。これまでの議会経験や地域でお聴きした「声」を活かし、全力で頑張ります。

さらにこの度、常任委員会の所属が環境生活委員会から総務委員会に変わりました。

総務省や豊島区役所を視察 先進事例を学ぶ

本年２月８日・９日の２日間にわたり、議員有志で総務省や豊島区役所、国交省などを視察しました。

総務省では、長崎県庁舎の建て替えに関連して、「フリーアドレス」の取組について調査しました。フリーアドレスとは、図書館の閲覧室のように個々の机を有しないオフィススタイルを意味します。総務省は、平成２７年１月よりフリーアドレスを行政情報企画課のフロアーからスタートさせました。まず、机や書棚を廃止し、スペースを最大限に有効活用しました。さらに、紙媒体の文書を大幅削減し、１フロアーにつき、従来より２倍の人数で業務が行えるようになりました。

豊島区役所では、「新庁舎建設と跡地活用」について視察に伺いました。豊島区の新庁舎は、１階と２階が民間テナント、３階から９階までが庁舎、１０階が「豊島の森」という庭園、１０階から上はマンションとなっており、３４５日開庁しています。

2017年2月8日
議員有志で総務省を視察

2017年2月9日
国交省国土政策局長と意見交換

佐世保みんな食堂の取組み、こどもの貧困問題

現在の日本は、先進国の中で突出して相対的な貧困状態にある子どもが多いという現状があります。そこで、佐世保市に住む女性有志によって、「佐世保みんな食堂ネットワーク(代表：徳永良子さん)」が設立されました。佐世保みんな食堂は、昨年７月より中部地区の各公民館を巡回しながら、毎月１回のペースで開催しています。

2016年12月14日
第６回 佐世保みんな食堂(メニュー)

2017年2月15日
第８回 佐世保みんな食堂

佐世保みんな食堂の特徴は子どもたちだけではなく、地域で暮らすすべての皆さんに食事を提供している点にあります。食事は中学生までの子どもは無料、高校生は２００円、大人は３００円となっており、運営資金は企業や個人からの寄付。スタッフもボランティアです。私も発起人の１人としてお手伝いしています。

引き続き地域の皆様方と力を合わせて、「快適な居場所」「栄養のあるおいしい食事」の提供を目指し、子どもたちのサポートにつなげていきます。

●新年度（29年度）の県予算に山田の提案が実る（新規事業）

昨年９月１６日の県議会一般質問において提案した政策が新年度予算で実現することになりました。

(1) 防災士の資格取得について

地域防災に有効な防災士資格取得のための養成講座を現在の年２カ所開催から開催場所を増やし、広報も充実させるべきと提案しました。新年度予算では「自主防災組織結成推進事業」として、防災推進員養成講座及び防災士フォローアップ講座などが図られることになりました。

(2) 食品ロス対策について

県内の食品廃棄の状況について質問し、食品ロス削減について官民協働の取組を提案しました。新年度予算では「エコ＆ヘルシーながさき推進事業」として、食品ロス対策で協議会を設置し、県民運動の進め方を検討すると同時に、事業者と連携した食べきりキャンペーンが新たに実施されます。

(3)災害派遣福祉チームの設置について

熊本地震災害時の福祉避難所等における福祉・介護人材の不足という教訓を踏まえ、災害派遣福祉チームの設置と福祉避難所の整備を提案しました。新年度予算では、「災害福祉広域支援ネットワーク事業」として、新たな支援体制の構築が図られます。

●昨年末も東奔西走!! 地域の「声」を集めて、県政へ届けています。

2016年12月25日
山手町公民館の餅つき大会

2016年12月22日
平戸市の黒田市長と意見交換

2016年12月4日
世知原町北川内天満宮の寒祭

2016年11月24日
相浦の飯盛神社秋季例大祭